COPYRIGHT2017 CINEMA CARVAN ALL RIGHTS RESERVED.

Credit

Photo : Rai Shizuno, Tatsuya'kuririn'Sano Text-Editing-Art direction : Saeco Baba Catalyst : Akira Okura

cinema-caravan.com

COPYRIGHT2017 CINEMA CARVAN ALL RIGHTS RESERVED.

CINEMA CARAVAN

»» APR. 2017

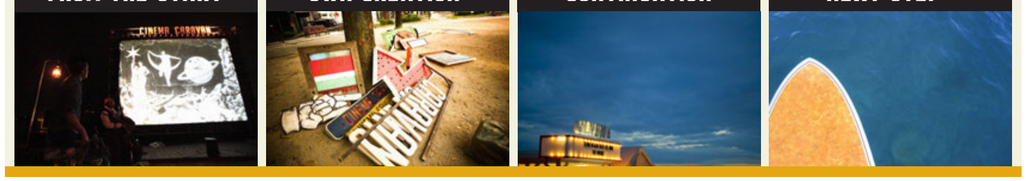
Press 04

FROM 28.APR | **ZUSHI BEACH FILM FESTIVAL 2017** | TO 07.MAY

DOWN TO EARTH

Action leads to deepening our lives

FROM THE START	OWN CREATION	CONTINUATION	NEXT STEP



COPYRIGHT2017 CINEMA CARVAN ALL RIGHTS RESERVED.

Action leads to deepening our lives

"DOWN TO EARTH"

Interview with the Organizer of ZBFF - Rai Shizuno and Gen Nagashima

Interviewed by Saeco Baba and Akira Okura

今年で8年目を迎える逗子海岸映画祭。今では開催当初の10倍以上の来場者を迎えるイベントに成長しました。
開催当初から今まで、そしてこれから未来へ進む道すじについて、逗子海岸映画祭の中心である二人に話を聞きました。

COPYRIGHT2017 CINEMA CARVAN ALL RIGHTS RESERVED.

初めての開催からの8年間

8 years since the start

ー逗子海岸映画祭は今年で8年目を迎えました。振り返るにはまだ早い気もしますが、8年目を迎えて改めて思うことといえば、どんなことでしょうか?

志津野雷(以下　雷):やっぱり「逗子海岸映画祭」というタイトルの認知度がすごく上がったのは感じるよね。逗子といえば「映画祭」みたいな。CINEMA CARAVANで日本の他の地域に遠征に行った時とか、初対面の人と話す時に「ああ、あのチームなのね」と理解してもらえるぐらいにはなってきた。

ー近年では期間中に約15,000人が訪れるようになったわけですが、どんな方々が来場されているのでしょうか?

長島源(以下　源):今のところは、東京とか地方の人はよく知ってもらっているな、と感じることが多いな。逗子市の中では、エリアでの認知度の違いは少し感じるかな。逗子駅を越えて行った山側に住んでいる人には思ったより知られていなかったりするし。だから市内での露出には、もう少し力を入れていきたいよね。入場料の市民割引も実施させてもらっているし、地元の人たちにはもっと来てもらえたら嬉しい。

ー毎年ボランティアスタッフの募集もされていますね。どんな方々が応募されているのでしょうか?

源:遠方から興味を持ってサポートしてくれているボランティアの方たちが結構いるし、地元からも「逗子を盛り上げてくれてありがとう!僕らも盛り上げに来ました!」なんて参加してくれている人もいる。彼らのサポートなしでは今の形での開催はありえないので、本当に感謝しています!

ー都心や地方で知られているのと同様に、小さなムーブメントとして、この8年の間で野外映画上映のイベントが増えたな。と思います。

源:おごっているわけではないけど、全国的にこれだけ野外映画上映のイベントが増えたことのきっかけに、多少影響してるとは思うよね。8年前は外で映画を観れることはほとんどなかった。だからやってみようというのが「逗子海岸映画祭」のきっかけの一つでもあったわけだし。

8年間変わらない、ハンドメイドでの会場づくり

Nothing has changed.
The space is all our own creation.

ー小さな規模での野外映画上映も増えているのと同時に、大型イベントとしての屋外型「映画フェス」というのも開催され始めてます。

**雷:他の大型イベントと違うのは、逗子海岸映画祭はスタッフ達が8年間毎年ゼロから全て自分たちの手でつくり続けていること。
来場者数が10倍になった今でもそれは全く変わっていなくて、よくここまでの手作り体制で8年間やってきたな。と思うよ。(笑)**

ー会場の完成度は確実に数段上ってますよね!

**雷:スタッフ達が成長した証拠だよね!初めは床も張れなかった人間が、今では一つの小屋が作れるまでになったりしてる。
逗子海岸映画祭も、CINEMA　CARAVANも、単なる野外フェスがやりたかったわけではなくて、主催する側の人間が個人としての人間力を上げていくためにやっている。
その中でスキルアップできたり、作品の発表の場を作れたりすることができることが目標だったから、そこは結構いい感じになってきてると自負してる!**

ースタッフの技術やスキルの成長もさることながら、スタッフ達の子ども達の成長がめまぐるしいですね。

雷:子どもたちの8年間の変化はスゴイよね。体の変化ももちろんだけど、心の成長という意味でも、大人の何十倍も凝縮された時間を過ごしているわけで。その間に、大人が楽しんでみんなが遊べる場所を作っているところを、始まりから終わりまで見せられるのはとてもいい。

**源:生まれた時から映画祭がやっている、という子どもが増えてきてる。
そういう子どもたちにとって海岸は「メリーゴーランドがあって、映画を見るところ」だと思っていたりする。(笑)**

**雷:そういう事実が、続けていくことの大切さを実感させてくれるよね。
「続けていかなきゃ」というモチベーションにもなるし。
小さい頃から映画祭に触れていた子供達が将来成長した時に、この経験で育んだ感性を持って成長すると、どういうアウトプットになっていくのか今から楽しみにしてる。**

ワイマラマジャパン株式会社　〒107-0051　東京都港区元赤坂1-2-17　ご購入はコチラから | http://www.winetable.jp　vin_rose_　ロゼワインを楽しむ winetable

COPYRIGHT2017 CINEMA CARVAN ALL RIGHTS RESERVED.

続けていくことで、見えてきた未来

As we continue, we envisage the future.

雷：こうやって話してると、毎年「今年やる？やらない？」という話から始まってたのが嘘みたい。（笑）

源：初めからすんなり「今年もやるぞ！」となってきたのは6年目ぐらいだったよね。来てくれる人数がぐっと増えてきたり、また行きたいって言ってくれる声をいろいろなところで聞くと、さすがに「やらない」とは言えなくなってきた。（笑）

雷：「やっている自分達のための祭」から、来てくれた人たちから広がる輪ができて、「みんなの祭」になってきたのを実感するよね。主催している側としては、自分たちの成長を、会場作りや作品を通してアウトプットし続けていく「祭」として十分機能してきたのを感じてる。

源：一つのことをきちんと続けてきたからこそ、そこから信頼関係が生まれてきてる。

雷：この、年に一度の「祭」は一人歩きできるぐらいに成長し始めてきたから、今度は日常生活の中でアウトプットし続けていく場所が作れたら、と。

ー映画祭の世界観や楽しさが、日常生活でも「体験」できる場所があったら最高ですよね。

雷：日々の生活の中でも、少し自分のいつものタイムラインを変えていくだけで、見えるものって変わっていくと思うんだよね。
例えば僕だったら、朝2時間早く起きてストレッチしたり、海に行ったり。
前は夜から朝方まで仕事詰めで、「そんなの無理！」って思ってたこともあるけど、やったら結構できたりして。そうすると、今まで見えてきたものとは違う風景が目に入ってくる。家族と過ごす時間が増えるってこともその一つだけど、そうすることで今度はアウトプットするものも変化したなと思う。
僕は写真家だから、そこから写真にするものも少し変わったり。
SNSで写真のアップを続けていたら、それが仕事につながったり（笑）
とはいえ日々のタスクがあったり、気持ちの切り替えが難しい状況もあると思う。だから、これはあくまで僕の一例だけど、そういう日常の「目線」みたいなものを組み替えられる手伝いができる日常的な「場所」を作りたい。

ー日常的な「場所」ってどういうものでしょうか？

雷：数年前から「逗子バスク化計画」なんて映画祭でうたってるんだけど、バスクのどこが魅力かって、個人が当たり前のように自由にインディペンデントに活動している。もちろんそこは国としての歴史的なバックグラウンドがあったりする影響もあると思うけど、その背景を軸にして日常的に自由に表現したり、人生を謳歌している。
そうした楽しみ方の一つとして、みんなが自由に使えるビーチクラブ*とか、美食倶楽部*がある。
そういう風に、地元の自然の楽しみ方や個人の経験を共有できる場所があると、集まった人たちで楽しむということはもちろんだけど、技術やスキルのシェアができたり、相談できたりして。日常のスイッチを入れ替えやすくなるんだよね。

＊「バスク美食倶楽部」-「美食倶楽部」という男性だけのクラブがある。クラブハウスで仲間と料理を作り、それを楽しむという会だが、入会資格や会則は厳しい。サン・セバスチャンには100を超える「美食倶楽部」が点在しているという。街の男たちが、このクラブでみんな1日シェフになる。

＊「ビーチクラブ」-バスク、サン・セバスチャンのビーチには、会員制で海の道具のレンタルや艇庫、ワークショップなどが行われている。それを通称「ビーチクラブ」とここでは呼んでいる。

Yogi

【ヨギティー正規輸入代理店】
株式会社オーバーシーズ
東京都世田谷区代田 5-11-10 / TEL: 0120-522-582
@yogiteajp

COPYRIGHT2017 CINEMA CARVAN ALL RIGHTS RESERVED.

COPYRIGHT2017 CINEMA CARVAN ALL RIGHTS RESERVED.

日常に寄り添い、根付いていくことの大切さ

Next step is "Down to Earth"

雷：「映画祭を日常に」っていうと、ものすごくいろいろなやり方があるわけなんだけど。まずはできることから始めてみたいな、と考えてて。僕は海のスポーツが好きだし、体を動かすことにも興味がある。そして逗子には海と山がある。その立地を活かして、ビーチクラブをつくりたい。
単純に街と自然とのアクセスを楽にしたいな、って感じで。
みんなで海の道具が使えて、来た人と技術のシェアもできるような。
そして、そこにはキッチンがあって料理もできる。地元の人から、もちろんプロの料理人の味も楽しむことができる。体を動かしたら、エネルギーチャージは必須だからね。

ーそしてそこには野外スクリーン、も?

雷：そうそう。それは十八番だから。（笑）
それに、サーフィンやヨット、ダイビングなんかのムービーをそこで撮影して、上映してシェアできる場所があるって最高じゃない？

ー海に入る経験がほとんどない人でも、楽しむことはできる?

雷：もちろん！誰でも海に入れるところで、それをサポートできる人がいる、というのが理想だね。
やったことがなくても、「経験する」ことってすごく大切で。できなくても、経験を積んでいけば確実に経験値は上がっていくわけで。やったことがないことにチャレンジを続けてきたのは、映画祭で実績がある。（笑）
今の時代はSNSがどんどん発展してて、いろいろな情報が簡単に手に入る。もちろんそこが魅力的ではあるんだけど、それで「経験した気になる、知った気になる」というのも結構あると思うんだよね。知識だけあるのと違って、実際に「経験」したことって、知識と一緒に行動がともなってくるから、アクシデントがあった時にうろたえないで対応できる力になるんだよね。

それはほんと、人間の財産、人間力だよ。

ーこういう場所がいい?という希望や理想の場所などはありますか?

雷：やっぱり海は近くないとね。（笑）今逗子市でも空き家が5000件という事実がある。いろいろな活動が生まれてきてるけど、例えばその空き家をうまく使えたら。と考えてる。空き家が増えているのに、新しい場所をつくるっていうのも変な話だし。

源：今の社会経済のシステムだと、消費活動を続けるためにさらに新しいものがつくられている。

雷：そう。その資本主義の弱点にそろそろみんな気がついてる。
「モノ」じゃない財産を個人個人が得ていくときにきてる。

ービーチクラブが、個人の「モノ」じゃない財産づくりのきっかけになるわけですね。

源：そっか*の代表の一人の小野寺愛ちゃんは、この前講演で「世界中をどれだけ回ってみても、世界平和に繋がっているのは徹底したローカリズムの力だ」って話してた。
僕らも、自分たちの生活する地域で東京や中央に頼らずに仕事ができたり自立して生活していこうって気持ちが元になって、映画祭を続けている。
ビーチクラブについてもその基本姿勢は変わらないね。それに今、そういう共通意識がある人たちが繋がってきてる。今の社会に危機感とか違和感がある人は増えてるけど、いまいちスイッチが入ってない感じがある。特別な事をしなければ、ということでではなくて、毎日の生活の中で、自分の中が充足していく「場所」みたいなものをつく上げていくということで社会って変わってくるはず。
そのスイッチの一つとしてのビーチクラブになればいい。

雷：自分たちの生活している足もとを固めていく、というのは本当に重要なことだと思ってる。そういった意味でも「逗子」という土地は、海にも山にも恵まれて、街の大きさも僕らにとってはちょうどいいホームグラウンドなんだよね。そして実際に海に入ってみると、相模湾の豊かさに改めて震撼させられるほど。
年一回の「逗子海岸映画祭」とCINEMA CARAVANで世界を旅して培った経験値を、今度は日常生活の中で逗子という土地に還元していきたい。
今ある現実をしっかり見据えて、再構築していくっていう次のステップに挑戦したい。

＊「社団法人そっか」-神奈川県逗子の森・里・川・海を舞台に「食べる「作る」「遊ぶ」を楽しむ人びとの集合体として2016年から活動を開始。日本ならではの海辺と里山の風景を取り戻し、暮らしやすい地域づくり子どもも大人も楽しめる海を中心とした自然を楽しんでいる。
http://www.facebook.com/sokka.life/

COPYRIGHT2017 CINEMA CARVAN ALL RIGHTS RESERVED.

安政四年（1857年）創業。
守り続ける伝統の製法。

岩井の胡麻油
iwainogomaabura.co.jp

どんなに時代が移っても、
本当にいいものは変わりません。
焙煎胡麻油が、その例でせう。

ゴマが人間の身体にとっても良い成分を持っていることは、はるかな昔から知られていました。
胡麻油は、いわばそのゴマのエキス。
その中でも、焙煎胡麻油は揚げたとにきセサモールという抗酸化成分が出て抗酸化力が高まるという不思議な油。
流行などとは関係なく、
本当に良いものは、いつまでたっても良いものです。

COPYRIGHT2017 CINEMA CARVAN ALL RIGHTS RESERVED.

LET'S MAKE TOGETHER

WONDERLAND

THE Beach house

INCLUDE

BEACH CLUB , SHARING KITCHEN , LIBRARY
TREE HOUSE , OUTDOOR THEATHER
EMERGENCY STATION , METEOROLOGICAL STATION
EDIBLE YARD , LIVE SPACE , WORKING STUDIO
ENERGY SELF-SUFFICIENCY...ETC

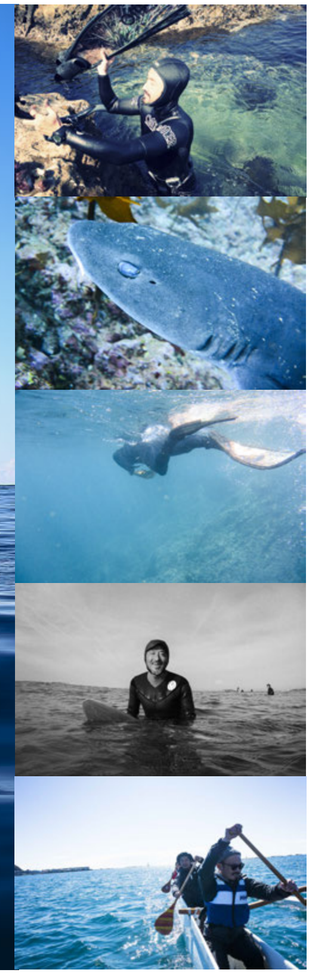
COPYRIGHT2017 CINEMA CARVAN ALL RIGHTS RESERVED.

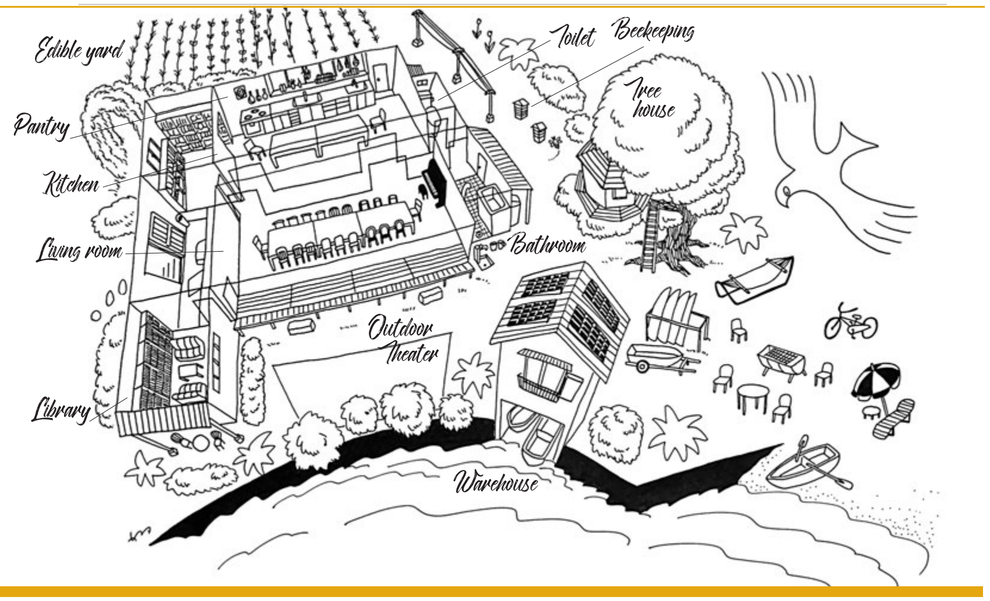
Let's PLAY WITH OUR TOWN Zushi

Photo : Rai Shizuno Illustration:Kanta Yokoyama
Text-Editing-Art direction:Saeco Baba

COPYRIGHT2017 CINEMA CARVAN ALL RIGHTS RESERVED.

COPYRIGHT2017 CINEMA CARVAN ALL RIGHTS RESERVED.





みんなで育てる日常のワンダーランド
" THE BEACH HOUSE"

Let's make together, our wonderland.

海あり、山あり、自然に恵まれた逗子の街。ハーフマイルの逗子海岸を陸地から眺める風景ももちろん日常生活の貴重な財産。
でも、一歩水面を超えて海の中へ踏み出すと、驚くほど見える風景が変わる。“相模の海を知る事は世界の海を知る事”とも言えるほど、逗子海岸が位置する相模湾は、暖流と寒流がぶつかる外洋の近くにあり、深海、岩場から砂浜、干潟までさまざまな生態環境を持つ、世界に類を見ない多様な生物の宝庫。地球の約7割を占める海の中はまさに目の前に広がる“ワンダーランド”
”THE BEACH HOUSE”は
「海を遊びつくすための道具、スキル、知識をシェアできる」
「魚や海藻、塩など、海からの滋養を味わうスキルがシェアできる」
「動いた体を満たす、美味しいものが食べられる」
「自然、スポーツ、音楽、食、デザイン、アート…様々な知的欲求を満足させる」
「魅力的な仲間に会える」
日常生活をよりカラフルにデザインするためのスイッチになる場所。
日々の中で成長し変化し続けていく場所として
みんなで育てていきたい。

There are .....

* パントリー。食材など。冷蔵庫もここに。畑で収穫した野菜もストック。
* キッチン。ここが心臓部。みんなここで食べたり飲んだりくつろいだり。
  勝手口から裏の畑に出入りできる。
* 玄関。スロープもつけて車椅子の人やお年寄りも楽に昇り降りできる。
  でもみんな庭から入ってきちゃうからあまり使われない。
* 居間。みんなでごはんを食べたり、ワークショップをしたり。時々ライブも。
* 図書室。ここのみ洋館風。
  二階建てで屋根裏あり。屋根裏には望遠鏡と寝袋完備。
* トイレ。外にはコンポストがある。畑の栄養に。
* お風呂。外にでたところに洗濯場。
  外から直接お風呂にもいけるクラシック海辺スタイル。
* 野外スクリーンで、撮影したものを大スクリーンで楽しめる。
* 畑。いろんなものを育てたり虫をつかまえたり。
* 養蜂もできる！夏はレモネードが楽しみ！ミツロウでキャンドルも備蓄。
* 倉庫兼船屋。海の道具や船の倉庫。屋根にはソーラーパネル。
* ツリーハウス。作る過程も、完成してからも楽しい秘密基地。
* 気象観測所。天気や風、海の温度や水質測定。最新の情報が手に入る。
* エネルギー自給ラボ。エネルギー自給のための、実践と研究ができる場所。

and more !